

2015年10月16日

株式会社アドバンスト・メディカル・ケア

体脂肪、内臓脂肪面積、動脈硬化…

エクオールに生活習慣病リスク低減の可能性

健常女性 743 名における大規模調査が北米閉経学会 NAMS で学会賞受賞

40 代以上の女性に様々な不調をもたらす更年期症状。その症状の改善効果で注目を集める成分『エクオール』に、新たにメタボリックをはじめとした生活習慣病リスク低減の可能性を示す学術発表が行われました。

2015年9月30日～10月3日、ラスベガスで開催された「第26回 北米閉経学会(NAMS)」において、株式会社アドバンスト・メディカル・ケアが運営支援を行う浜松町ハマサイトクリニック 院長 吉形玲美医師によるポスターセッションで発表されたこの研究内容は、同学会において学会賞を受賞しております。

この研究で明らかになったことは以下の通りです。

50 代において、エクオール産生者は非産生者と比較して体脂肪や内臓脂肪面積、動脈硬化、中性脂肪などにおいて良好な結果が示されました。50 代における体脂肪の数値はエクオール産生者で 25.7%、非産生者で 27.8%とその差は約 2%、内臓脂肪面積においても 41.8 cm^2 に対し 54.0 cm^2 とエクオール産生者が約 12 cm^2 少ない結果です。BMI(身長と体重のみから出す肥満指数)ではエクオール産生者と非産生者に有意差はないことから、「体格が同じように見えてもエクオール非産生者に隠れ肥満が多い」という結果が明らかとなりました。また、エクオールの産生能と動脈硬化、尿酸値との優位な関連も認められています。

60 代においても、エクオール産生者で HDL コレステロールが良好、動脈硬化や骨吸収抑制に優位な関連が示されました。

こうしたことから、閉経期から閉経後早期のエストロゲン(女性ホルモン)が減少する世代において、エクオールの産生能と生活習慣病リスクとの関連性が示唆される結果となりました。

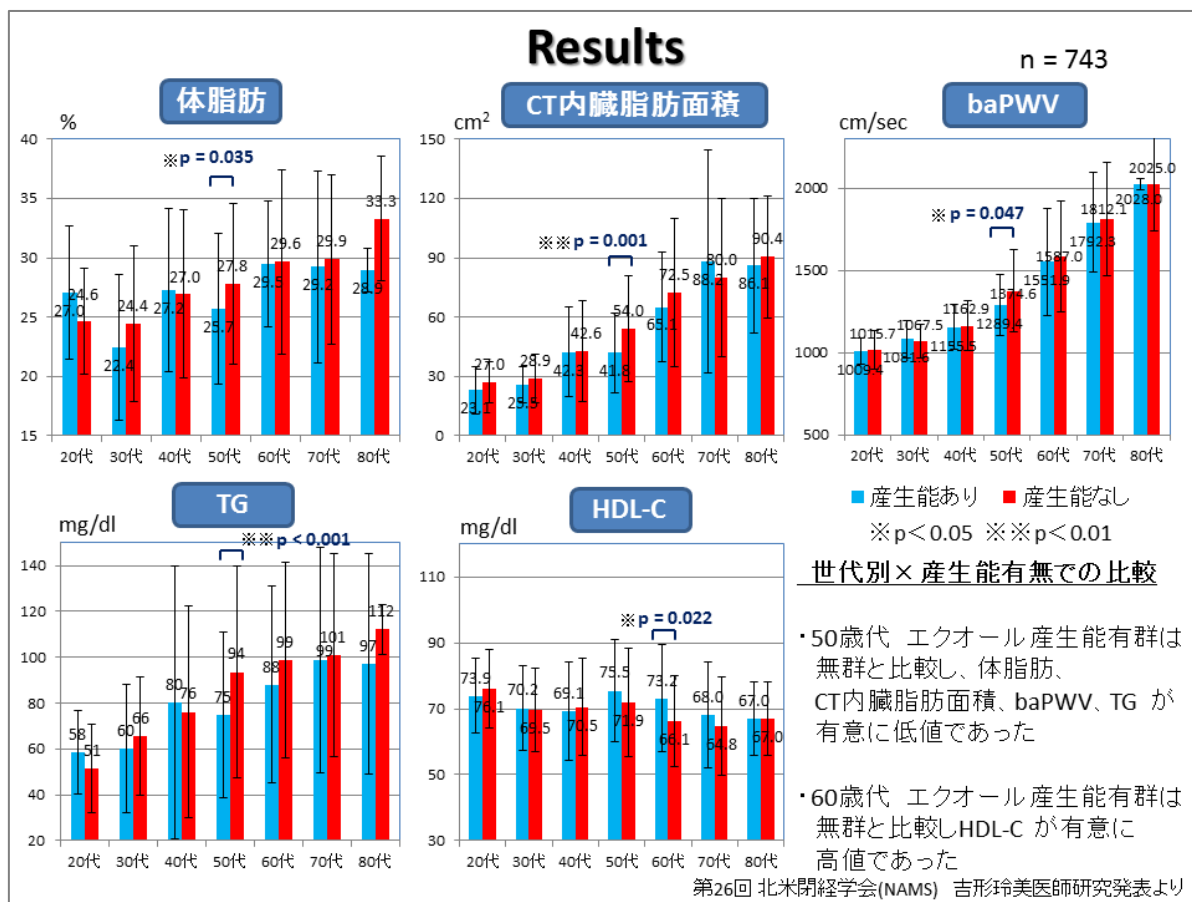
これまでの研究で、エクオールが動脈硬化の改善や骨密度減少の抑制へ作用するという報告はなされてきましたが、今回の研究により、エクオールの存在が特に女性ホルモンの

減少する世代への、肥満をはじめとする生活習慣病関連リスクの改善、骨粗鬆症予防などに期待が集まっています。

700名を超えるデータを元にしたこの大規模な研究は、学会でも大きなインパクトを与え、今後も追跡調査を行っていく予定です。

参考資料

■年代別 エクオール産生能の有無による生活習慣病リスクの比較



吉形玲美医師 プロフィール

東京都出身・1997年東京女子医科大学医学部卒業。同大学産婦人科の臨床の現場で婦人科腫瘍手術をはじめ、産婦人科一般診療を手掛ける傍ら、女性医療・更年期医療の様々な臨床研究に携わる。東京女子医科大学准講師を経て2010年より同大学非常勤講師。女性予防医療を広めたいという思いから、同年7月より浜松町ハマサイトクリニック院長に就任。



更年期、妊活、生理不順など、ゆらぎやすい女性の身体のホルモンマネージメントを得意とする。40代以降の女性の健康の鍵を握る成分として注目される「エクオール」においては、世の中に広く認知される以前からその臨床研究をリードしており、エクオール検査を日本の医療機関として初めて導入するなど、更年期医療に注力している。

●資格：医学博士、日本産婦人科学会専門医、臨床研修指導医、日本女性医学会認定女性ヘルスケア専門医・代議員、日本女性心身医学会認定医、日本産婦人科栄養代謝研究会幹事、更年期と加齢のヘルスケア学会幹事

●所属学会：日本産婦人科学会、日本女性医学学会（旧日本更年期医学会）、日本抗加齢医学会、日本骨粗鬆症学会、日本女性心身医学会 等

クリニック概要

クリニック名： 浜松町ハマサイトクリニック

所在地： 〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 2F

設立： 平成20年2月

院長： 吉形玲美

診療科目： 女性向け健診／定期健康診断・人間ドック／外来診察（内科・婦人科・整形外科）

URL： <http://www.hamasite-clinic.jp/>

【お問合せ先】

株式会社アドバンスト・メディカル・ケア

セールス&プロモーション部 広報課

担当： 山本 / 那須

〒107-6206 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー6F

TEL：03-6890-0015／FAX：03-6674-3982

E-Mail： pr@tokyomidtown-mc.jp